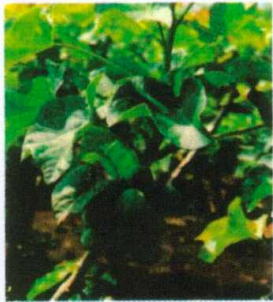


バイオ燃料向け植物

インドネシアで栽培

グリーン
アラブ

【神戸】NPO法人の
グリーンアラブ
(神戸市長田区、杉野慶
一理事長、078・64
6・7102)は、イン
ドネシア政府などと協力
し現地ジャトロファの
栽培事業を秋に開始す
る。ジャトロファは種



▲………
動はグリーン
種の部分が石
油代替燃料と
して注目され
ているジャト
ロファ

部分が石油代替燃料とし
て注目されている。3年
後に約200ha規模で栽
培し600kgのバイオ
燃料を生産する。これに
より年間1380トの二

酸化炭素(CO₂)削減
効果が得られるという。
取り組みに必要な資金
は国や民間企業などが出
資する地球環境基金が4
00万円を支援すること
が内定している。また栽
培用の土地はインドネシ
ア政府と栽培を行う北ス
ラウェシ州が提供する。
ジャトロファは熱帯地
帯に自生する多年草で、
種子に多量の油が含まれ
ている。食用には適して
おらず、食料と競合しな
いバイオ燃料として注目
されている。すでに航空
機用の代替燃料としての
利用実験も行われてい
る。

現地での活
動はグリーン
▲………
種の部分が石
油代替燃料と
して注目され
ているジャト
ロファ

グリーンアラブ傘下の非政
府組織(NGO)、緑の
騎士団が現地の農業試験
場と協力して行う。計画
では6月に農民を集めた
研修会を開催し、10月に
苗の植林を開始する。そ
の後順次栽培規模を拡大
し、3年後には200ha
とする。生産した燃料は
現地で消費するほか、地
球温暖化対策に取り組む
日本企業に、CO₂削減
に寄与する代替燃料とし
て販売する。

杉野理事長は「事業が
軌道に乗れば、地球温暖
化対策と現地農民の所得
向上の両面で意義のある
取り組みになる」として
いる。